

1 単元名 「きょう土を開く」

2 単元の目標と評価規準

地域の人々の生活について、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 地域の発展に尽くした先人の働きに関心をもち、それを意欲的に調べ、地域社会のよりよい発展を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の発展に尽くした先人の働きから学習問題を見いだして追究し、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心について思考・判断したことを言語などで表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の発展に尽くした先人の具体的事例を的確に調査したり、年表などの資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の発展に尽くした先人の働きを理解するとともに、地域の人々の生活の向上が人々の願いやと努力、先人の働きや苦心によるものであることを理解している。

3 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の「内容(5) ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例」にあたる。本単元では、用水路を開く、藩校や私塾を設ける、新聞を発行する、新たに産業を興すなど、地域の発展に貢献してきた人々が、強い信念をもって情熱を傾け、より良い生活を求めて努力したことやこれらの先人の働きや苦心によって地域の人々の生活が向上したことなどを取り上げることが考えられる。

そこで本単元では、児童に身近な「手賀新田の開拓」を教材化することで、当時使われていた道具を実際に触れたり使ったりする活動を通して、先人の工夫や努力、当時の人々の生活の様子などを具体的に調べる。さらに、地域社会の社会的事象を比較・関連付けて考え、再構成する活動を通して、相手にも分かるように表現する力を育てる。

これらの学習を通して、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えられることができるようにすることをねらいとする。

(2) 児童の実態

本学級の児童（平成24年7月3日実施、第4学年1組18人）に対し、社会的事象の特色や相互の関連などを考えて表現することができるかについて実態調査を行った。「昔の工事の様子」を表した挿絵から「気付いたこと」、「分かったこと」を記述する設問では、社会的事象を関連付けて表現できた児童が2人、他の児童は気付いたことを羅列的に記述していた。また、自分の住んでいる地域の特色について説明させた記述では、複数の社会的事象を関連付けて記述できた児童が3人、羅列的な記述が13人、他は記述に社会的事象の入っていない児童と無回答の児童であった。この結果から本学級の児童は、一つの事柄の羅列的な記述が多く、社会的事象を関連付けて考えたことを表現する力に課題があることが分かった。このことは、これまでの指導において、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて、考えたことを表現する活動を十分に行っていなかったためではないかと考えた。

(3) 指導観

そこで本単元では、「きょう土を開く」において、社会的事象を関連付けて考えたこと表現するために、地域素材である「手賀新田の開拓」を教材化し、身近な先人の働きを取り上げることで、地域社会において社会的事象の相互の関連などを追究する学習活動を展開する。

また、児童が学習の中で自分の考えの変化を把握したり操作活動を行ったりする際に、思考の過程を可視化できる学習シートを活用する。そして、この学習シートを基に、話し合う場面において自分の考えと相手の考えの違いを比較しながら学習を深めていく。

さらに、調べた複数の社会的事象を関連付けながら考察し、テーマに合った年表作りや紙芝居などの方法を用いて自分の考えたことを発表する場の設定をする。このような学習活動を通して、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を調べ、社会的事象について比較・関連付けて考えることで、その考えを再構成してまとめ、自分の言葉で相手にも分かるように表現する力が育つであろうと考えた。

4 単元の指導計画(10時間)

階時	おもな学習活動	指導上の留意点と評価(評価は◎)
つかむ	1 なぜ、手賀小学校区の地区名は、その名前がついたのでしょうか。資料から予想して調べよう。 ○「新宿」「宿」「竹の塚」「舟津」「新田」「小座山」の地名がついた理由を考え、話し合う。	・自分で考えたことと友だちが考えたことを区別し、思考の過程が分かるように学習シートを活用できるようにする。 ◎手賀地区の地名が、地形や歴史的事象などの社会的事象と関連していることに気付き、進んで調べようとしている。 (関心・意欲・態度 学習シート)
	2 なぜ「新田」という地区名になったのかを探り、学習問題を作成しよう。 ○ゲストティーチャーに「新田」の開拓について手がかりとなる話を聞き、学習問題を考える。 ○興味をもったことを進んで発言し、学習問題をつくる。	・自分の聞き取った内容や感じたことを記録し、友だちと比較することで、学習問題を考えられるように学習シートに記入できるようにする。 ・ゲストティーチャーの手がかりとなる話から児童が関心をもった内容で、今後の学習問題を作成できるよう助言する。 ◎ゲストティーチャーの話から、開拓の苦労や工夫、人々の願いを学習問題にしている。(思考・判断・表現 学習シート)
調べる	3 昔の道具を体験して、昔の人の気持ちを考えて文章で表そう。 ○「もっこ」「鍬」「鋤」「検尺」の体験を通して、苦労や時代に合った道具の工夫を体験から考える。 ○先人の気持ちを体験を通して考え、発言できる。	・体験して感じたことや工夫について、学習シートに記録できるようにする。 ・道具の役割や苦労しながらも地域の発展のために努力した先人の願いを感じ取れるよう助言をする。 ◎昔の工事に使う道具を体験し、先人の願いや努力、働きや苦心を理解している。(知識・理解 学習シート)
	4 なぜ、富山県から手賀にやってきたのでしょうか。資料をつなげて説明してみよう。 ○富山県から手賀に来た理由を考え、話し合う。 ○富山県と茨城県の社会的事象について比較できる資料を使い、関連付けて説明する。	・富山県と茨城県の位置を地図で確認し、徒歩で移動してきた苦労を視覚的に考えられるようにする。 ・富山県と茨城県の社会的事象を比較できる資料をカードにして、関連付けて説明できるように学習シートを工夫する。 ◎富山県と茨城県の社会的事象を比較できる資料を関連付けて説明することができる。(思考・判断・表現 学習シート)
	5 開たくに、どんな苦労があったのか、資料を比べて考え、資料をまとめる計画を立てよう。 ○開拓の苦労を考え、話し合う。 ○開拓後のくらしの工夫を資料を比較し、読み取る。 ○調べたことを図で表し、関連付けて考えるきっかけをつかむ。 ○調べたことを項目ごとにまとめる班を分ける。	・開拓の苦労を考え、話し合うことで自分の考えとみんなの考えをまとめて学習シートに記入できるようにする。 ・話し合いで出た内容を再度取材できるようにまとめ、担当を決めて取材できるようにする。 ◎開拓の苦労を考え、話し合いを通して次時からの活動が計画を立てることができる。(思考・判断・表現 学習シート) ◎地域の発展に尽くした先人の働きや苦心を理解している。(知識・理解 学習シート)
調べたことをまとめる	6 調べたことに合った発表方法を考えて、班ごとに資料を作り、まとめしよう。 ・水田作りの工事やお米づくりの道具 ・富山県から手賀にやって来た人のれきし ・まわりの地区の人たちと仲よくする工夫 ・開たくの苦労と人々のねがい ○四つの班ごとに発表の方法を考え、協力してまとめる。 ○どの資料を示すと効果的なのかを考え、話し合いながらまとめる。	・どの内容がどの表現活動に合うかを話し合い、適切に選択できるよう教師がアドバイスする際にも学習シートを活用する。 ・集めた資料を効果的に活用できるよう助言をする。 ・児童に分かる内容で書いた読み物資料を用意して支援する。 ◎集めた資料から必要なことを読み取り、比較し、関連付けて考えて資料を作成し、内容にあった表現活動ができる。 (思考・判断・表現 学習シート、作成した資料) ◎地域の開発に尽くした先人の働きや苦心を読み取って、年表や作品などにまとめている。(技能 作成した資料)
	7	
再構成し、くらべる	8 調べたことの検討会をして、ほかの班の発表や意見カードと比べて、分かりやすくしよう。 ○班ごとに、「発表する班」、「発表を聞き意見を書く班」に分かれ、二つのグループで検討会をする。 ○役割を変えて、全員が発表と意見交換を行う。 ○発表の後、意見カードや班員の考えをまとめて、改善する内容を話し合う。	・発表を聞いて内容を書き取り、意見を伝えるための学習シートに記入できるようにする。 ・話し合いで友だちの意見を比べてまとめ、考えることができるように意見カードを読み合わせて作業するよう助言する。 ・ほかの班の発表を参考にして改善点を考えるよう助言する。 ◎相手に分かりやすく発表することや自分の考えたことを相手に伝えることで、比較や関連付けて考えることができる。 (思考・判断・表現 観察、学習シート)
	9 検討会の意見を参考に資料をまとめ直そう。 ○検討会で出たことを話し合い、改善する。 ○できた資料を使って、発表練習をする。	・学習シートを振り返り、より相手に伝わる内容を検討できるよう助言する。 ◎友だちの意見を取り入れて、社会的事象を関連付けて考え、再構成してまとめることができる。 (思考・判断・表現 観察、学習シート)
発表する	10 発表会をし、学習を通して考えたことを文章でまとめよう。 ○ゲストティーチャーにも発表を聞いてもらい、感想やアドバイスをもらう。 ○ゲストティーチャーの話から感じたことを学習シートに記入する。 ○学習を通して考えたことを相手にも分かるように表現する。	・ゲストティーチャーを招くことで、発表の意欲付けを図る。 ・先人の苦心や願いから、自分がこれからどうしていきたいかを考えて学習シート記入にできるよう助言をする。 ◎先人の苦労や工夫・願いを進んで調べ、自分の考えをもつことができる。(関心・意欲・態度 学習シート) ◎地域の人々の生活の向上には、人々の願いやそれを実現するための努力、先人の働きや苦心があったことを社会的事象を関連付けて考え、相手にも分かるように表現することができる。(思考・判断・表現 発表、学習シート)

5 本時の学習

(1) ねらい

相手に分かりやすく発表することや自分の考えたことを相手に伝えることで、比較や関連付けて考えることができる。

(2) 準備・資料

学習シート、発表資料、意見カード、ヒントカード

(3) 展 開

学習活動・内容	指導上の留意点と評価（評価は◎） （□はC→Bへの手立て）												
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>調べたことのけんとう会をして、他の班の発表や意見カードとくらべて、分かりやすくしよう。</p> </div> <p>2 調べたことをまとめた四つの班を二つのグループに分け、検討会を行う。</p> <p>(1) 第一グループが「発表する班」「発表を聞き意見を書く班」にわかれて、検討会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一回の発表は、7分とする。 ○ 一回目の発表が終わったら、「発表を聞き意見を書く班」だけ交換して、二回目の発表を行う。 <p>(2) 第二グループが「発表する班」「発表を聞き意見を書く班」にわかれて、検討会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一回目の検討会と同じ方法で、「発表を聞き意見を書く班」のみ交代をして、二回行う。 ・発表のポイントを確認して、分かりやすく伝える。 ・発表を聞くポイント、資料を見るポイントを確認して、意見を書く。 <p>【発表の場】</p> <table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">発表②</td> <td style="padding: 2px;">聞き手</td> <td style="padding: 2px;">聞き手</td> <td style="padding: 2px;">発表③</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">発表①</td> <td style="padding: 2px;">聞き手</td> <td style="padding: 2px;">聞き手</td> <td style="padding: 2px;">発表④</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center; padding: 2px;">黒板</td> </tr> </table> <p>3 学習シートを活用して、友だちの意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた友だちの意見カードを班ごとに学習シートにまとめる。 ○ にている意見と異なる意見を分けて整理をする。 ○ 取り入れられるものを考えながら整理をする。 ・学習シートにまとめた意見や他の班の発表を見て、改善すべき内容を話し合う。 ○ 他の班のよかった所を視点として考える。 <p>4 本時の活動を振り返り、次時の活動内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>富山県から手賀新田に移り住んできた人たちは様々な苦労をしながら、開拓の工事をしました。地域の人たちと協力しながら地区の生活の向上のために努力をしてきました。</p> </div>	発表②	聞き手	聞き手	発表③	発表①	聞き手	聞き手	発表④	黒板				<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが作った資料を発表することで、友だちから助言をもらったり、他の班の発表を見ることで、自分たちの作品を見直す機会をもつことがねらいであることを明確に伝える。 ・発表する班と発表を聞き意見を書く班の第一グループと第二グループは、順番を示しすぐに活動が行えるようにする。 ・活動の場を工夫し、発表の入れ替えがすぐに行えるようにする。 ・発表時間や活動の流れを板書で示し、視覚的に活動の流れが理解できるようにする。 ・発表のポイントのヒントカードを用意し、気をつけることを意識させて発表ができるようにする。 □ 発表する分担を事前に確認し、全員が発表できるようにするとともに、自信がなく声が小さくなる児童に対しては、前時までに発表原稿を助言しながら用意させ、発表の場に臨ませるように支援する。 ・発表を聞くポイント、資料を見るポイントのヒントカードを用意し、ポイントにあった視点で評価して、自分の考えを意見として書いて伝えることができるようにする。 □ 意見を書くことがなかなかできない児童に対しては、具体的な例文をヒントカードで示し、発表内容に応じた助言をして、記入できるようにする。 ・個別に意見をまとめる学習シートと班全体で整理のできる学習シートを用意して、作業がしやすいようにする。 ・新田の開拓という一つの課題に関して調べていることを意識させ、関連付けて考えられるよう助言する。 □ 意見のまとめ方を示したヒントカードを使って、意見の整理ができるようにする。 ・他の班の発表のよかった所を考えることで、自分たちの発表に生かせないかを考えられるような助言をする。 □ 話し合いに積極的に参加できていない児童に対して、見た班の発表からイメージさせる助言を行う。 ◎ 発表したり、聞いたりすることで、内容の比較や関連付けて考えることができる。 (思考・判断・表現 観察, 学習シート) ・本時の活動を生かして、次時の活動を行うことを確認し、目的をもって活動ができるように助言する。 ・具体的にどのように調べたり、手直しをすべきかの見通しをもたせる。
発表②	聞き手	聞き手	発表③										
発表①	聞き手	聞き手	発表④										
黒板													